

(様式1)

令和4年度学校パワーアップ事業全体構想

学校名

荒川区立第七中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

「安心して登校でき、満足して下校できる学校」の実現に向け、家庭・地域・諸機関・学校が一体となった教育活動を推進し、知・徳・体 調和のとれた生徒の育成を行う。
カリキュラムマネジメントの視点をもって教育課程を実施し、「主体的・対話的(協働的)で深い学び」を推進するとともに、次の世代の人材育成の基礎を創る。

学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
<p>○夢につながる主体的な学びを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の定着 eライブラリを活用し、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。 ・英語教育の充実 NEAを継続させ、英語学習の充実を図る。 <p>○体験的な学習活動をとおし、よりよい未来社会を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際コミュニケーション能力の育成 TGG体験を通して、中学校英語の総復習と国際化社会におけるコミュニケーション能力の育成を図る。 	<p>○こころとからだの健全な育成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理教育検査(hyper-QU、Q-U)を実施するとともに、分析方法や対応についての研修を行い、個に応じた指導を組織的に実践することで生徒の健全育成を図る。 <p>○体験的な学習活動を通して、よりよい未来社会を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語の体験や和楽器奏者の演奏、実技指導を通して、日本の伝統・文化への関心・意欲を高める。 <p>○良好な教育環境と体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクールに向けて、直接音楽家の指導を受けるとともに、本格的なホールを使用することで音楽に関する関心・意欲の向上と情操教育の充実を図る。 	<p>○学校図書館の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書とインターネット教材を併用することで生徒の探求心を向上させ、図書館活用の一層の充実を図る。 <p>○キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育コーディネーターと連携し、3年間を見通した計画的な進路指導を实践し、生徒の職業観の醸成を図る。 <p>○教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア部員を中心に季節に応じた植栽をすることで、愛校心や自然愛護の精神の育成を図るとともに、生徒会が取り組んでいるSDGs(15陸の豊かさを守ろう)への関心を促す。 ・各教室に書画カメラを配置することで、全体で共有する場面を増やし、学習の質を高める。

令和3年度 全国・荒川区学力調査に関する結果(平均正答率：%)
区学力調査(全学年)

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	72.9	49.8	69.1	53.8	83.0	65.1	54.0	59.0	43.0	56.3
区	71.7	51.4	70.0	54.6	82.5	67.7	54.5	60.9	48.7	57.1
区との比較	1.2	1.6	0.9	0.8	0.5	2.6	0.5	1.9	5.7	0.8
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語					
自校	66.8	48.6	48.5	50.5	56.2					
区	67.7	50.5	52.2	51.2	62.1					
区との比較	0.9	1.9	3.7	0.7	5.9					

全国学力・学習状況調査(3年)

	国語	数学
自校	63	51
全国(公立)	64.6	57.2
全国(公立)との比較	1.6	6.2

学校の結果は整数で示されています。

令和4年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第七中学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
夢につながる主体的な学びを推進する	<p>【内容】家庭学習の定着 区学力調査(i-check)の結果から、学年が低いほど学習習慣が身に付いておらず、学力的にもほぼ全ての教科で区平均を下回っている。そのため、eライブラリを活用し、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。</p> <p>【目標】 i-checkの学習習慣の項目で、標準スコア全国平均を上回る。また区学力調査においては、各教科の基礎問題正答率を3ポイント上昇させる。</p> <p>【内容】英語学習の充実 区学力調査の結果から1、2年生では他教科に比べ英語の学力の定着は見られるものの、コミュニケーションへの関心・意欲・態度は区平均を下回った。そのため、NEAを継続させ、指導方法を工夫しながら英語指導の充実を図る。</p> <p>【目標】 区学力調査において、英語のコミュニケーションへの関心・意欲・態度の正答率で区平均を目指すとともに、教科の正答率を3ポイント上昇させる。</p>
体験的な学習活動をとおして、よりよい未来社会を築く	<p>【内容】国際コミュニケーション能力の育成 TGG体験を通して、中学校英語の総復習と国際化社会におけるコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>【目標】 自己表現力を高めるとともに、未来社会を想定した経験をすることで自らの進路に対して計画性をもたせ、キャリア・パスポートに反映させる。</p>